

<p style="text-align: center;">教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>学校教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養をそなえ、真理を追究する生徒の育成 豊かな情操と道徳心を培う生徒の育成 健やかな心身を養う生徒の育成 	<p style="text-align: center;">今年度の指導の重点</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立と基礎学力の充実を図る。 道徳的価値の内面化と判断力を育てる。 友を思いやる心情を培い、豊かな情操を育てる。 個性の発見を促し、自己実現の達成を図る。
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国</p> <p>数学A、数学Bについては、県平均と比べると正答率が高い。 国語A、国語Bについては、県平均と比べると正答率が同程度である。 国語Aでは、「書くこと」の領域の正答率が県平均をやや下回ったが、他の領域は県平均と同程度以上であった。 数学Aでは、「数と式」の領域では理解度が高いが、「資料の活用」の領域で課題がある。</p> <p>県</p> <p>社会は正答率が県平均を下回ったものの、昨年度に比べてその差はやや縮まり、「我が国の政治の働き」については、県平均を上回った。 国語、数学、理科は、正答率で県平均を下回った。 県と同様に、校内においても各教科ともに「活用」の領域で課題がある。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>平日の家庭での学習時間(1時間以上)の割合が、1年・3年ともに県平均に比べて高い。 平日のテレビ視聴時間(3時間以上)の割合が、県平均に比べて1年はかなり高く、3年も高い。 平日の読書時間(30分以上)の割合が、県平均に比べて1年はかなり高いが、3年は低い。 あいさつについて肯定的な回答をした生徒の割合が、1年は非常に高率で3年も割合が高い。 地域の行事に参加している生徒の割合が、県平均に比べて1年・3年ともかなり高い。</p>
<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>家庭学習の充実に力を入れてきた成果が、少しずつ現れてきている。 学年によって、学習内容の理解度が異なっている。 1年は活用型の問題に課題がある。 毎月の交通立ち番による声かけ運動や地域の恒例行事への参加など、地域との連携が定着しており、あいさつなどの調査の好結果につながっている。 「各教科が好き」「よくわかる」かどうかについて、当てはまる・どちらかといえば当てはまると肯定的に回答する生徒の割合が、県平均より低い教科がある。</p>	<p style="text-align: center;">課題に対応した改善方法</p> <p>研究テーマである「わかりやすく、魅力的な授業」の取り組みの充実と、「魅力ある授業づくり徹底事業」の活用を進め、授業改善を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の機能を生かした授業づくりを進める。 毎日の授業で、最初に「本時の目標」を明示して、授業を展開していく。 グループ学習を取り入れるなど学習形態を工夫して、個々の生徒の活動場面を増やすと共に、応用・思考力や言語活動の充実を図る。 授業の終わりには「学習のまとめ」「振り返り」の時間を設ける。 <p>国語の授業の中で、自分の考えなどを文章化する課題に取り組む場面を増やす。 数学における少人数指導を充実させ、コースに合わせた問題演習に取り組む。 朝読書の取り組みを継続して行うと共に、文化図書委員会の活動と連携して、読書習慣の一層の定着を図る。</p>
<p style="text-align: center;">取組の検証方法及び検証時期</p> <p>2年に学力定着状況確かめテストの実施(11月末～12月) 生徒への授業アンケートの実施(学期ごと) 毎月の校内研修を通じて、授業改善の取り組み状況を教員間で共有</p>	<p style="text-align: center;">達成目標(数値目標)</p> <p>各教科の平均正答率が県平均より低い教科については、県平均と同程度以上まで引き上げる。 「各教科が好き」「授業がわかる」と回答する生徒の割合を、県平均と同程度以上まで引き上げる。</p>